

学位論文審査の基準

<口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）>

研究テーマの妥当性：

テーマ・問題設定が明確に示され、問題設定に妥当性・独自性が認められるか。

研究の背景が明示され、問題設定に対応した結論が明確に提示されているか。

研究方法と論旨の展開：

問題解決に対応した研究方法を用いているか。

データや資料などを十分に踏まえ、論理的であるか。

引用文献、図表などは論旨の展開に有効であるか。

学術的意義：

説得力のある成果が提示されているか。

未解明の問題については、今後の見通しが提示されているか。

論文構成：

論文の構造が明確に提示され、形式が整っているか。

文法的・語法的に正しく、明確かつ適切な表現で書かれているか。

<口腔生命福祉学専攻（博士後期課程）>

研究テーマの妥当性：

テーマの選択や問題設定が先行研究を着実に踏まえて行われているか。

既存研究との関連で十分な意義や妥当性・独自性、適切性を有しているか。

結論が明確に提示され、問題設定に対応しているか。

研究方法と論旨の展開：

先行研究を踏まえて研究方法の選択が行われているか。

事実調査や文献などの検索・評価が充分になされ、データなどを的確に収集しているか。

研究資料の文献の読解が正確であり、データの分析・解釈が的確であるか。

論旨は十分な体系性・一貫性を有しているか。

学術的意義：

研究内容が独自性をもち、十分な検証が行われ、新しい知見を有しているか。

未解明の問題について、今後の見通しを踏まえた位置づけを考察しているか。

博士学位論文において達成された内容が、今後の教育・研究・診療・地域活動などに貢献するか。

論文構成：

博士学位論文として、テーマにふさわしい適切かつ十分な分量と形式を有しているか。

学術雑誌に投稿可能な様式に整っており、文法的・語法的に正しく、明確かつ適切な表現で書かれているか。

<口腔生命科学専攻（博士課程）>

研究テーマの妥当性：

先行研究を踏まえ、学術的意義、新規性、創造性、応用的価値を有しているか。

当該分野および関連分野の学問研究に貢献できる内容を含んでいるか。

研究方法と論旨の展開：

先行研究を踏まえて研究方法が選択され、研究方法が明確かつ具体的に記述されているか。

事実調査や文献などの検索・評価が充分になされ、データなどを的確に収集しているか。

研究資料の文献の読解が正確であり、データの分析・解釈が的確であるか。

結果および解析・考察の展開が論理的かつ説得力があるか。

学術的意義：

研究内容が独自性をもち、十分な検証が行われ、新しい知見を有しているか。

未解明の問題について、今後の見通しを踏まえた位置づけを考察しているか。

博士学位論文において達成された内容が、今後の教育・研究・診療などに貢献するか。

論文構成：

博士学位論文として、テーマにふさわしい適切かつ十分な分量と形式を有しているか。

学術雑誌に投稿可能な様式に整っており、文法的・語法的に正しく、明確かつ適切な表現で書かれているか。